

# 竹鼻まつりの由来と変遷

- 竹鼻の氏神八劔神社の祭神は日本武尊。天正9(1581)年竹々鼻城主不破源六により居城の守護神として現在地に遷座されて以来、400年以上に及ぶ。
- 竹鼻まつりは八劔神社の例祭で、江戸時代から明治の中期までは、実りの秋に行われていたが、周辺の村まつりと重なるため、明治35年から春に変わり、戦後、国の祝日に合わせて本祭を「こどもの日」の5月5日とし、さらに大型連休の初日5月3日になった。
- まつりを飾る山車は13輛。そのうち、濃尾大震災の焼失を免れた約半数の山車は、宝暦から天保年間の制作のもので、大垂れ幕類は鮮明な織りで、5輛のカラクリ人形も精巧を極める。全13輛が県指定重要有形民俗文化財に指定されており、半数ずつ隔年交互曳行されている。
- 今年は、羽島市制施行70周年記念特別曳行として開催され、12輛が町内を曳行。残る1輛は、青山スクエアに展示される。

## 松山大浦線 曳き揃え会場

### 1 川町の山車

構造/総高5.7m・間口2.3m・奥行3.9m  
製作/宝暦年間と伝えられる  
前山・後山/黒漆地青貝入り、蒔絵「唐獅子」  
高欄と手すり/ろ色塗り  
四本柱/黒漆塗り、青貝入り朱面とり  
天井/金箔おし、黒漆すみどり  
屋根/黒漆塗り、金漆ふちどり  
大幕/狸々餅ラシヤ、「きりん」図、「鳳凰」図  
水引/白ラシヤ、「竜巻」図、金糸刺繍  
見送/黒餅ラシヤ、「義経大人」図



### 2 大西町の山車

構造/総高5.4m・間口2.2m・奥行3.6m  
製作/天明から寛政頃  
前山/つづみ型、ろ色艶出し、彫刻「猿田彦、天鈿女命」  
後山/つづみ型、ろ色艶出し  
高欄と手すり/朱塗り青貝入り  
四本柱/ろ色青貝入り  
天井/紺天井、金箔  
屋根/神社型二重屋根、黒色塗り  
大幕/狸々餅ラシヤ、「竹に虎」図、「竜」図、嘉永元年製作  
水引/狸々餅ラシヤ、「すだれ」図  
見送/狸々餅ラシヤ、「張良靴を掛ける」図カラクリ人形「湯取神子」



### 3 福江町の山車

構造/総高6.0m・間口2.1m・奥行3.7m  
製作/年次不明、嘉永元年と明治21年改修  
前山/青貝入りろ色塗り、「牡丹に唐獅子」花鳥  
後山/すだれ紅葉、金時絵、青貝入り三色塗り  
高欄と手すり/黒塗り、鍍金金具つき  
四本柱/青貝入りろ色塗り  
天井/切天井、金箔、枠はろ色塗り、鍍金金具つき  
屋根/黒塗り  
大幕/狸々餅ラシヤ、金銀色系「遺唐使」図  
水引/大幕と同じ、「花鳥」図  
見送/白ラシヤ、金銀色系「須佐男命大蛇退治」図  
カラクリ人形/「唐子文字書き」



### 4 新町の山車

構造/総高5.7m・間口2.1m・奥行3.6m  
製作/天明から寛政頃  
前山/紫檀と鉄刀木造り、彫刻「のぼり竜」  
後山/前山と同じ、鍍金金具つき、彫刻「鳩」  
高欄と手すり/高欄は紫檀、手すりはろ色塗り  
四本柱/赤木生地  
天井/格天井、鍍金箔はり  
屋根/破風造り、黒塗り  
大幕/狸々餅ラシヤ、「雲竜」図、金銀色系刺繍、天保年間の作  
水引/青ラシヤ、「浪に鯉」図、金銀色系刺繍  
見送/狸々餅ラシヤ、「岩上の虎」図、天保年間の作、「猛虎」図、嘉永年間の作



### 5 下城町の山車

構造/総高5.6m・間口1.7m・奥行3.1m  
製作/寛政6年、改修文久3年  
原の樋口伝兵衛の作  
前山/金箔、梨地、青貝入りろ色塗り、彫刻は「寿老人」「稲穂に雀」「紅葉」  
後山/青貝入りろ色塗り、明治6年製  
高欄と手すり/黒艶出し、鍍金金具、彫刻「浪に竜」  
四本柱/ろ色塗り、明治6年製  
天井/二重柱、金箔、明治21年樋口伝兵衛の作  
大幕/白縫つぶし、「丸竜」図、金銀色系  
水引/赤縫つぶし、「注連縄」図  
見送/狩野有景筆「竜王の舞」、京都大丸製作



### 6 宮町の山車

構造/総高5.5m・間口2.3m・奥行3.6m  
製作/大部分は明治20年に完成、関ヶ原の樋口伝兵衛の作  
前山/金箔、梨地、青貝入りろ色塗り、彫刻は「寿老人」「稲穂に雀」「紅葉」  
後山/青貝入りろ色塗り、明治6年製  
高欄と手すり/黒艶出し、鍍金金具、彫刻「浪に竜」  
四本柱/ろ色塗り、明治6年製  
天井/二重柱、金箔、明治21年樋口伝兵衛の作  
大幕/白縫つぶし、「丸竜」図、金銀色系  
水引/赤縫つぶし、「注連縄」図  
見送/狩野有景筆「竜王の舞」、京都大丸製作



### 7 今町の山車

構造/総高5.1m・間口1.8m・奥行3.6m  
製作/幕末に一町内として独立、大正中期に新造  
前山・後山・高欄と手すり・四本柱/共に白木塗り  
天井/白木造格天井  
屋根/白木造り  
大幕/餅ラシヤ無地、昭和11年に新調  
水引/白ラシヤ、「竜巻」図、昭和11年に新調  
見送/青ラシヤ、「唐獅子」図、金銀色系刺繍、昭和11年に新調



### 8 上鍋屋町の山車

構造/総高5.3m・間口2.3m・奥行3.4m  
製作/濃尾震災で焼失、明治37年大垣久瀬川より購入  
前山/こげ茶色塗り、彫刻「手長人」「足長人、昭和31年に後山を前山として改造  
後山/昭和31年に新造  
高欄と手すり/黒塗り、鍍金金具、彫刻「唐獅子」  
四本柱/無地  
天井/なし  
屋根/破風造り、年々紙で張り替え  
大幕・見送/共に餅ラシヤ無地  
水引/金糸刺繍、明治37年に新調



### 9 本町の山車

構造/総高4.8m・間口2.1m・奥行2.7m  
製作/濃尾震災で焼失、明治43年に再建  
前山/白木造り、彫刻「牡丹」「藤」  
後山/白木造り、彫刻「竜」「唐草」  
高欄と手すり・四本柱/白木造り  
天井/格天井、無地  
屋根/白木造り  
大幕/網地色打ち掛け、金銀色系刺繍、平成6年に新調  
水引/なし  
見送/網地色打ち掛け、金銀色系刺繍、平成6年に新調



### 10 中町の山車

構造/総高5.4m・間口2.3m・奥行2.7m  
製作/濃尾震災で焼失、一時奥町の山車を購入使用、大正2年に再建  
前山・後山・高欄と手すり・四本柱/共に白木造り  
天井/格天井、無地  
屋根/白木造り  
大幕/赤地金欄で七宝模様、昭和2年新調  
水引・見送/大幕と同じ



### 11 上城町の山車

構造/総高5.7m・間口1.9m・奥行3.3m  
製作/寛政6年、改修嘉永元年  
前山/ろ色塗り、青貝はく、彫刻「鯉の滝上り」  
後山/ろ色塗り、上板は金箔金模様  
高欄と手すり/ろ色塗り、鍍金金具  
四本柱/四方面とり、ろ色塗り、青貝入り  
天井/格天井、金箔  
屋根/御殿造、四方垂木金箔、鍍金金具つき  
大幕/狸々餅水色縫つぶし「荒波」図  
水引/亀甲形中に百花百鳥の縫つぶし  
見送/狸々餅縫つぶし「琴高仙人」図  
カラクリ人形/「唐子鉦叩き太鼓打ち」



### 12 下鍋屋町の山車

構造/総高5.4m・間口2.2m・奥行3.6m  
製作/天保年間と伝えられる、明治・大正初年に改修  
前山/御殿造、黒と朱塗り、青貝入り金たたき、彫刻は「雀」「唐子」  
後山/御殿造、鏡板金時絵「月に萩」  
高欄と手すり/ろ色金たたき、青貝入り、金物真珠  
四本柱/ろ色青貝とぎ出し、金の面とり  
天井/格天井、金箔  
屋根/組子、黒塗り  
大幕/狸々餅ラシヤ、森高雅筆「雲上の仙人と虎、唐獅子」、金銀色系刺繍  
水引・見送/大幕と同じ、図柄は各「群鳩」「上覧」  
カラクリ人形/「唐子鉦叩き太鼓打ち」



### 山車曳き揃え配置図



### 青山スクエア 展示会場

**上町の山車**  
構造/総高5.7m・間口2.3m・奥行3.9m  
製作/濃尾震災で焼失、明治32年再建  
前山/白木造り、彫刻「栗うずら」「鼠に大根」  
後山/白木造り、彫刻「秋海どうに兔」前山・後山共に諏訪の二代目四郎の作  
高欄と手すり・四本柱・屋根/共に白木造り  
天井/格天井、無地  
大幕/餅ラシヤ縫つぶし「竹林七賢人」図、天明年間の作  
水引/餅ラシヤ、縫つぶし「唐八景」図、天明年間の作  
見送/「鳳凰」図、「人物」図、天明年間の作  
カラクリ人形/「勅使、岩船人」



### 山車の位置情報をリアルタイム配信!



まつり当日は、GPS(位置情報システム)を活用して、お手持ちのスマートフォン等で山車の現在地を確認することができます。



こちらからアクセス

### 山車曳行の予定時間

八劔神社奉芸	9:30~11:00頃
曳き揃え・奉芸時間	12:30~14:30頃
山車展示(青山スクエア)	10:00~16:00頃
夜山車曳き(今町・新町・川町)	19:00~20:30頃

### 竹鼻まつり会場位置図



**ご来場の皆さまへ**  
※まつり会場のドローンの飛行は危険ですのでおやめください。  
※記録用または今後のPR用として、写真撮影および画像を使用させていただくことがあります。  
※歩きスマホは大変危険です。操作する際には周りの方の迷惑にならない安全な場所に立ち止まってください。